

新年のあいさつ 2017

社会福祉法人健翔会

2017/01/04

理事長 渡辺弘

新年のスタートにあたり、健翔会の役職員、ご家族の皆様、年頭のご挨拶を申し上げます

<初めに>

埼玉県行田では天候に恵まれ穏やかだった今年のお正月、私は、ゆっくりと自宅で過ごしました。箱根駅伝もテレビで観戦しました。今年の箱根駅伝は青山学院大学が総合3連覇。この青山学院大学の原監督の就任は2004年だそうです。弱小チームであった同大学を、総合3連覇するチームに育て上げられました。古い体質のチームに新しい風を吹き込み、人材、選手が育つ環境づくりから始め、就任11年目にして悲願の優勝、その後3年連続の優勝ができるチームになりました。選手が育つ環境をつくるまで10年以上の時間が必要だったのです。

私たちも同じように、2007年に“麦の穂”、2012年に“大地”と事業を展開してきました。今年も“大地”からちょうど5年が経ちますので、

人工島建設や尖閣諸島周辺への軍艦を航行させ、北朝鮮ではミサイル発射や核爆弾実験もありました。イギリスはEU離脱が賛成多数で決定されました。

日本にとって嬉しいニュースも多くありました。リオデジャネイロ・オリンピックでの日本は史上最多の41個のメダルを獲得しました。特に水泳、体操、レスリングのほか、パラリンピックでも水泳やボッチャでもメダルを獲得、若い選手たちが堂々と頑張る姿はとても頼もしく見えました。一方残念なことでは、長い間アイドルであったSMAPが2016年をもって解散してしまいました。

<2017年の思い>

2017年の干支は酉（とり）。相場の格言では、



次の一歩だと考えています。

<2016年の振り返り>

世界を見るととても不安な出来事が多かったようです。中東やトルコ、ヨーロッパでは年間を通して、紛争やテロが続き、中国は南シナ海での



「申酉（さるとり）騒ぐ」と言われているそうです。騒がしい年に大切なこと、それは自分たちの立ち位置をしっかりと把握することです。私たちはどこに立っているのか、どこに向かっていのかを把握するために、

健翔会本部

...

・ 理事会・評議員会

2016年2月

平成28年度予算審議

平成27年度補正予算

2016年5月

平成27年度決算審議など

2016年11月

埼玉県監査指導監査果
定款変更、評議員選任・解任
委員会委員規則、選任
デイサービス物件の購入
収益事業について
第1次補正予算(案)
就業規則の改定について

2016年12月

太陽光発電事業者の選定

2017年の予定

2017年2月

評議員選任解任委員会

新評議員選任

2017年2月

平成29年度予算審議

平成28年度補正予算審議

2017年3月

障害児通所支援事業開始

2017年4月

収益事業開始

2017年5月

理事会 平成28年度決算

2017年6月

評議員会 平成28年度決算

新理事選任

2017年11月

理事会 中間報告

2018年2月

理事会

平成30年予算審議

平成29年補正予算

今年の私たちは、鳥の目線＝俯瞰（ふかん）で仕事を、ケアを、運営を考えようと思えます。

また、麦の穂が営業開始して10年目の節目にもあたります。今までご理解ご協力いただいた皆様への感謝と、私たちの立ち位置の確認を行う1年にしたいと思えます。

2017年には長期的な視野に立った事業を開始します。一つ目は障害児通所支援事業、いわゆる放課後等デイサービスです。障害のある子どもたちの将来の自立を目指し、年齢・発達状況に合わせた個別課題（学習）を行います。二つ目は社会福祉法人としては珍しいことですが、財務内容の改善を目指し私たちの持っている財産をフル活用した収益事業を開始します。収益事業で得られた収益を社会福祉事業に還元したいと思えます。いずれの事業も10年、15年後のあるべき姿を目標にした息の長い事業です。

長期的な視点では、これから先の5年を考えるためには、今までどういう改革・前進をしてきたかということの振り返りが重要です。大切なのは前進していることです。職員の皆さんもその意識をお願いします。畑を耕した、肥料を入れた、種をまいた、花が咲いた、1年ごとに前進していること。5年経ってこれだけの変化があったということに、生きがいを感じてほしいです。今からでもできることはたくさんあります。夢のある話ができるようにしてください。

健翔会に限らず全ての社会福祉法人は4月から新たな制度で運営するよう改革が進められており、健翔会も自主自

立（自律）した福祉専門会社としてスタートいたします。これにより、経営体制の一新、財務体制の強化、経営能力・業績に対する評価、地域社会とのつながりなど求められる数々の難題をクリアする努力を惜しまず、どんどん前に進んでいきたいと考えております。



＜2017年に皆さんに期待すること＞

福祉に限らないことでしょうか、特に福祉は人（財）です。厚労省は人材というと「資格はあるか？」「研修したか？」と言います。果たして、それが人材でしょうか？支援マニュアルを作れ！とも言います。ルールは必要ですが、細かく分類した仕事の一つ一つを文字に置き換え、書いてある通りに動く、それはよいことなのでしょうか？私たち健翔会のマニュアルの前文にこう書いてあると思ってください。

私たちは役に立っているのか？＝役に立つ仕事をしよう、と。そして、私たちは考えます、誰の？何で？どうしたら？と、、、

資格も研修も必要です。しかしそれはテクニカルなことです。重要なのは、なぜここにいるのか、何をしようとしているのか、立ち位置を見失わないことです。某居酒屋のマニュアルにはたった一言

「お客様の笑顔のために」と書いてあるそうです。

年頭にあたり、目標を全員が理解し、共有し、よく議論し、それぞれの役割を確認してください。職員一人ひとりがやりがいを持てる、やる気が起きるように、皆さんで作っていきましょう。

＜おわりに＞

健翔会は、過去10年着実に成長しています。財務内容も良くなっています。これから更に積極的な策が打てるような法人になってきています。

今年は、皆でわくわくするような仕組み・仕掛けを考えて、どんどん実行していきましょう。そのためには勉強もしていきましょう。法人も応援します。そういう環境づくりをして行けば、自ずと皆が経営者となる組織になると思えます。そしてコンプライアンスを守り、社会福祉法人としての社会的責任を果たせるようになりましょう。

その為にも、まずは健康な身体と精神が大切です。身体を壊してしまっただけでは本末転倒です。健全なからだを心をもって、今年一年やっていきましょう。

皆さんとご家族のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のあいさつ2017

社会福祉法人健翔会
電話 048-554-8815

埼玉県行田市小見 1141 番地 1
<http://kenshokai.net>